

2017（平成29）年度 日本体育協会公認スポーツ栄養士養成講習会 受講の手引き

<目次>	
受講の流れ	P2
受講の申込みから資格認定まで	P3
共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 受講会場一覧／基本日程表	P9
共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 会場案内図	P10
共通科目カリキュラム	P12
「受講希望者個人調書」の記入について	P14

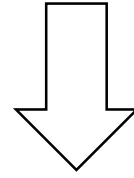
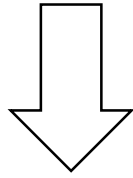
競技名	
受講番号 (受講決定時に通知)	
氏名	

※講習会参加の際はご持参ください。また、この手引きは資格取得まで保管してください。
 ※この受講の手引きは日本体育協会のHPからもダウンロード可能です
 (トップページ＞スポーツ指導者＞資格をとりたい！＞どんな資格があるの？＞栄養士)



公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト

日本体育協会及び加盟団体等は、「スポーツ立国」の実現を目指し、生涯を通じた快適なスポーツライフの構築を図ることを通して、望ましい社会の実現に貢献するため、その推進の中心となるスポーツ指導者を育成する。



日本体育協会 公認スポーツ指導者とは

日本体育協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者とは、常にプレーヤーを最優先するというスタンスに立ち、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることのできる者である。

望ましい 公認スポーツ指導者とは

公認スポーツ指導者は、日常の「生活／暮らし」にスポーツを取り入れることによって「豊かな人生」を得られることを広く一般に定着させるとともに、「仲間と楽しく行いたい」「うまくなりたい、強くなりたい」さらに「健康になりたい、長生きしたい」という欲求に応えられるよう、その実現に向けて「サポートする」活動を通して、望ましい社会の実現に貢献するという役割を持つ。

また、常に自己研鑽を図り、自ら成長・発展するとともに、社会的評価が得られるよう努力することが重要である。

安全で、正しく、楽しいスポーツ活動の場を確保するために

- ・スポーツに対して情熱を持ち、常にプレーヤーを最優先し、何事にも前向きに取り組む
- ・すべてのプレーヤーに常に公平な態度で接し、また活動に参加したくなるような雰囲気を作る
- ・すべてのプレーヤーの個性や長所を見つけ、伸ばす
- ・一方的、強制的な指導にならないよう、コミュニケーションスキルを高め、活動のねらいや内容をプレーヤーと共有する
- ・発育発達段階や技能レベルに即して指導の内容と方法を工夫する
- ・プレーヤーの健康状態に注意をはらい、ケガや病気を起こさないよう配慮する
- ・天候や活動場所の整備状況、道具・用具の手入れや施設の破損確認などに配慮する

「スポーツ立国」

スポーツの持つ力が、望ましい地域社会の実現に貢献するとともに、スポーツにかかわる自立・自律した人々の主体的かつ自治的なスポーツ実践や運動（ムーブメント）を通して、国内はもとよりアジア近隣諸国から地球規模へと拡がることによって、「スポーツ宣言日本」が目指す社会像の実現に寄与していくこと。

「公認スポーツ栄養士」 (メディカル・コンディショニング資格)

◆役割

- ・地域におけるスポーツ活動現場や都道府県レベルの競技者育成において、スポーツ栄養の知識を持つ専門家として、競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高めるための栄養教育や食事環境の整備に関する支援等を行う。

◆認定により備えられる知識と能力

- ・スポーツ医・科学に関する専門的知識
- ・スポーツ栄養に関する専門的知識
- ・他の専門職と連携する能力
- ・競技者に対する栄養教育／栄養指導を実践する能力
- ・栄養マネジメントの能力

◆カリキュラム

共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ:152.5時間(集合講習会と自宅学習により構成)

専門科目:116.5時間以上(集合講習および実技・実習、インターンシップ含む)

公認スポーツ栄養士養成講習会は、日本体育協会が計画・実施する「**共通科目(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)**」と日本スポーツ栄養学会が計画・実施する「**専門科目**」から構成されています。

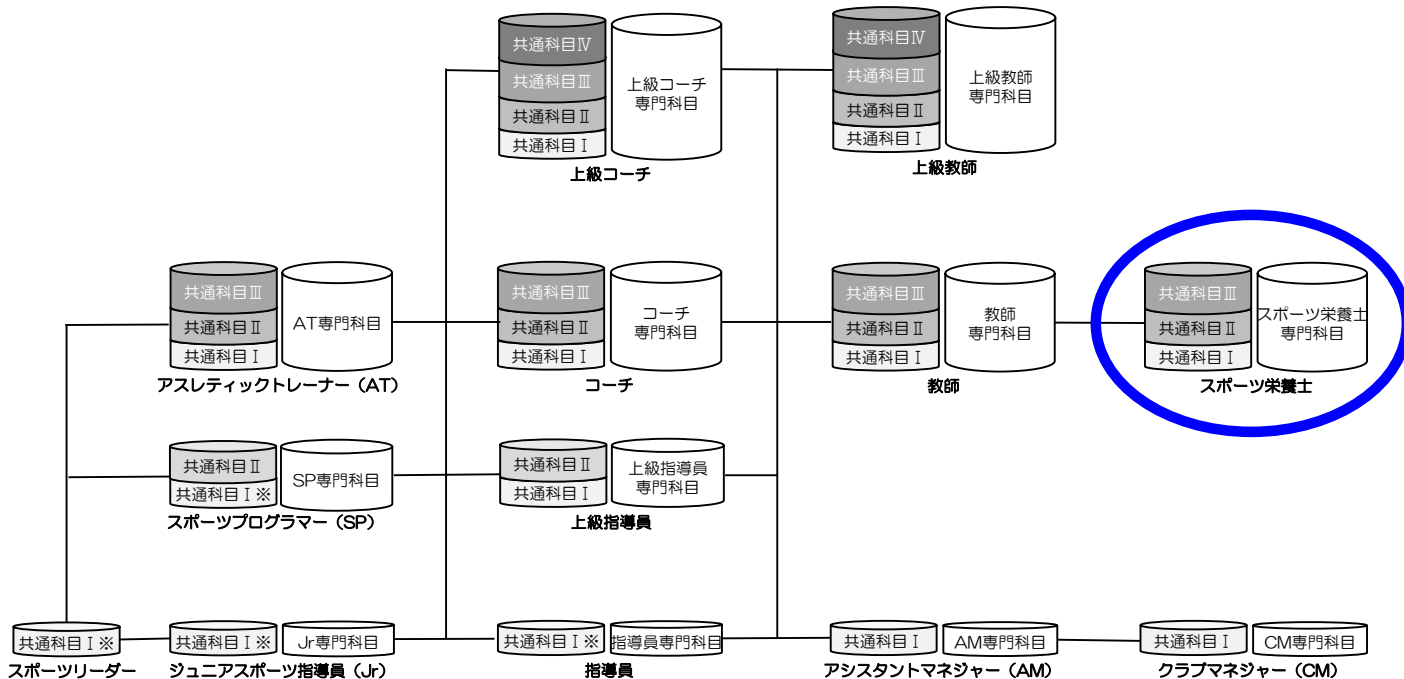
共通科目(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)
【日本体育協会】



専門科目
【日本スポーツ栄養学会】

専門科目(集合講習会および検定試験)の詳細については、日本スポーツ栄養学会にお問い合わせください。

各科目の受講、検定合格(修了)、登録手続きの完了により資格認定・登録されます。

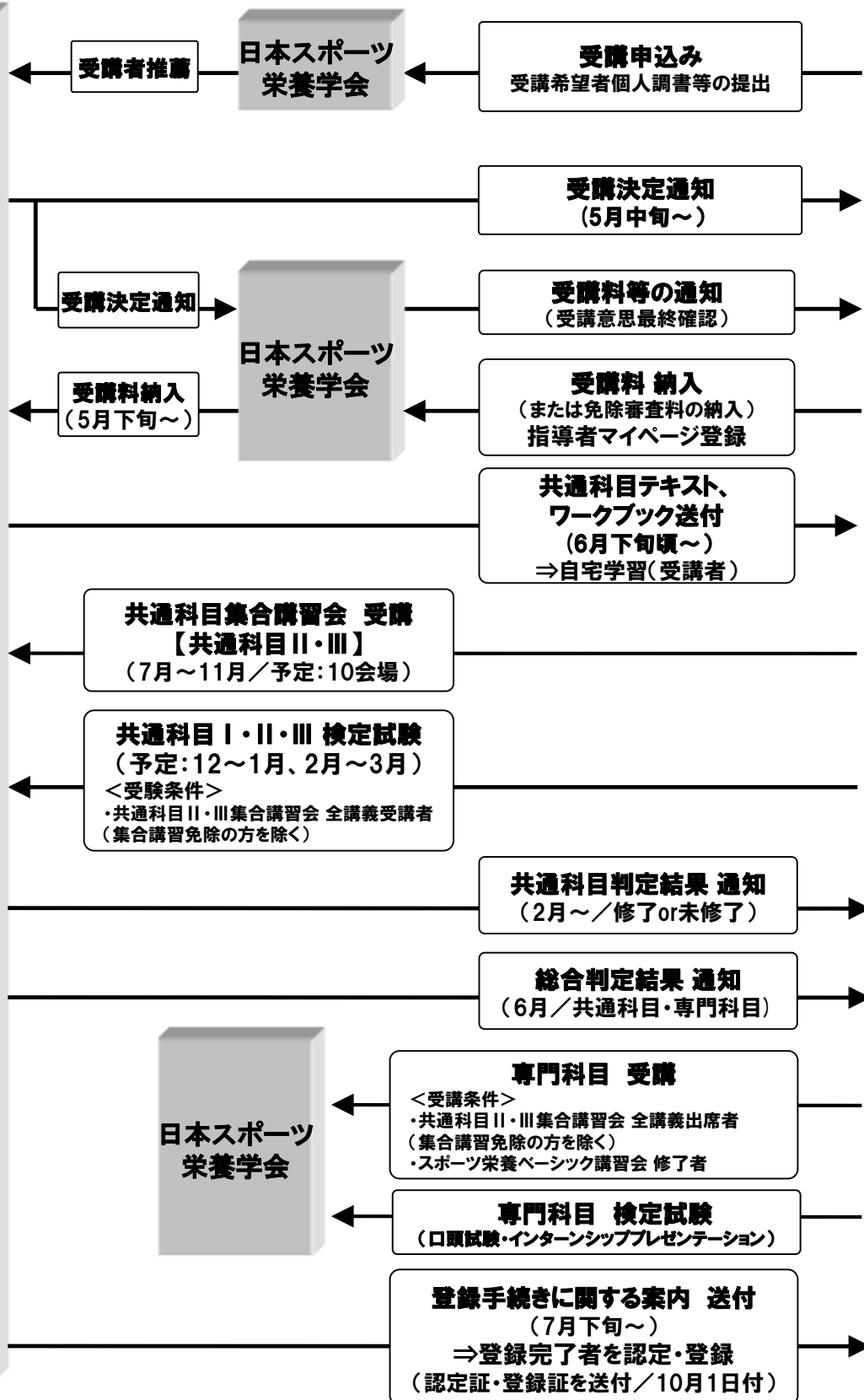


※ 「スポーツリーダー(通信講座コース)」、「指導員」、「ジュニアスポーツ指導員」の共通科目Ⅰは、日本放送協会学園(NHK学園)による通信講座です。

受講の流れ

日本体育協会

受講者



※ 通知時期などについては、この「受講の手引き」作成時点における予定となります。

受講の申込みから資格認定まで

受講申込み

<受講条件>

受講を開始する年の4月1日現在、満22歳以上の管理栄養士で、スポーツ栄養指導の経験がある者または予定のある者のうち、日本体育協会および日本栄養士会が認めた者。

申し込みにあたっては、日本スポーツ栄養学会のHP等にて受講条件の詳細を必ずご確認ください。
※他の日本体育協会公認スポーツ指導者資格講習会との同時受講はできません。

<申込方法>

所定の「受講希望者個人調書」を記入のうえ、
指定期日までに日本スポーツ栄養学会に提出してください
※記入方法については14ページをご確認ください。

<提出物>

- ・受講希望者個人調書
- ・管理栄養士免許証の写し
- ・共通科目免除証明書の写し(免除申請者のみ、受講決定後の申請は不可)
- ・スポーツ栄養ベーシックコース修了証の写し(修了者のみ)

<申込期間>

2017年3月6日(月)～3月20日(月)【当日消印有効】

<提出先>

「NPO法人日本スポーツ栄養学会」
〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1
神奈川県立保健福祉大学栄養学科 鈴木志保子研究室 (TEL:080-3576-5152)

<留意事項>

提出に際しては、**必ず日本郵便の「レターパックプラス(510円)」をご使用ください。**
品名欄に「公認スポーツ栄養士 受講申込書在中」とご記入ください。
※「受講希望者個人調書」は返還いたしませんので予めご了承ください。

【集合講習および試験の免除申請について(共通科目)】

他の公認スポーツ指導者資格(有効期限内)、スポーツリーダー認定証、免除適応コース修了証明書、中学または高校の保健体育一種免許状(専修免許状)、その他関連資格等をお持ちの方は、該当する共通科目の集合講習もしくは集合講習と試験両方の免除申請が可能です。詳細は次ページをご確認ください。

※受講申込み後の免除申請は原則できません。必ず申込時に免除申請を行ってください。

※専門科目の免除要件はありません

【個人情報の取り扱い方針について】

- ・ 受講申込みにあたり提供いただく個人情報は、公認スポーツ指導者養成団体が共同利用することとし、本養成講習会の運営・管理および諸連絡に使用します。
- ・ 「スポーツ指導者の活動に関する調査」にて取得した情報は、個人が特定される形での集計・公表はいたしません。
- ・ 日本体育協会は、本養成講習会における受講管理を業務委託いたします。業務委託にあたっては、本会と委託先の間で個人情報保護に関する覚書を締結し、個人情報の取り扱いについては十分注意を払っております。
- ・ 本会個人情報取り扱いについては、日本体育協会HPからご覧いただけます。

トップページ > 個人情報保護方針・特定個人情報基本方針
<http://www.japan-sports.or.jp/privacypolicy/tabid/102/Default.aspx>

共通科目免除概要および受講料

保有資格	共通科目					共通科目 受講料等(税込)	免除申請時 必要書類	備 考
	自宅学習・集合講習				検定試験			
	I	II	III	IV				
(1)公認上級コーチ【有効期限内】	免除	免除	免除	免除	I・II・III・IV 免除	0円	登録証(写)	
(2)公認上級教師【有効期限内】	免除	免除	免除	免除	I・II・III・IV 免除	0円		
(3)他団体認定の上級教師【有効期限内】	免除	免除	免除	免除	I・II・III・IV 免除	3,240円 (免除審査料)		
(4)公認スポーツトレーナー 2級【有効期限内】	免除	免除	免除	—	Ⅲのみ 受験必須	3,240円 (免除審査料)	登録証(写)	
(5)公認スポーツトレーナー 1級【有効期限内】	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	3,240円 (免除審査料)		
(6)公認コーチ (他競技)【有効期限内】	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円		
(7)公認教師【有効期限内】	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円		
(8)公認フィットネストレーナー (SP2種)【有効期限内】	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円		
(9)公認アスレティックトレーナー (AT)【有効期限内】	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円		
(10)公認スポーツ栄養士【有効期限内】	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円		
(11)他団体認定の教師【有効期限内】	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	3,240円 (免除審査料)		
(12)免除適応コース修了証明書(共通Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)保有者	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円	修了証明書(写)	(14) 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの テキスト・ワークブックを お送りします
(13)以下の資格の受講歴がある者で、共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了者 公認コーチ／教師(C・B級含む)／アスレティックトレーナー／スポーツ栄養士	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円		
(14)中学校教諭または高等学校教諭の 保健体育一種免許状または保健体育専修免許状保有者 ※1	集合講習 免除	集合講習 免除	集合講習 免除	—	免除なし (受験必須)	16,640円	免許状(写)	
(15)公認上級指導員	免除	免除	—	—	Ⅰ・Ⅱ 免除	19,440円	登録証(写)	共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの テキスト・ワークブックを お送りします
(16)公認スポーツプログラマー	免除	免除	—	—	Ⅰ・Ⅱ 免除	19,440円		
(17)レクリエーションコーディネーター(H12年度以前取得者)【有効期限内】 ＜日本レクリエーション協会＞	免除	免除	—	—	Ⅰ・Ⅱ 免除	19,440円		
(18)健康運動指導士【有効期限内】 ＜健康・体力づくり事業財団＞	免除	免除	—	—	Ⅰ・Ⅱ 免除	19,440円		
(19)免除適応コース修了証明書(共通Ⅰ・Ⅱ)保有者	免除	免除	—	—	Ⅰ・Ⅱ 免除	19,440円	修了証明書(写)	
(20)スポーツリーダー(スポーツ少年団認定員を含む)	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円	認定証(写)	共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの テキスト・ワークブックを お送りします
(21)公認指導員【有効期限内】	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円		
(22)公認ジュニアスポーツ指導員【有効期限内】	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円		
(23)公認アシスタントマネジャー【有効期限内】	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円		
(24)公認クラブマネジャー【有効期限内】	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円		
(25)野外活動指導者(ディレクタ1級)【有効期限内】 ＜日本オリエンテーリング協会＞	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円		
(26)レクリエーションコーディネーター(H13年度以降取得者)【有効期限内】 ＜日本レクリエーション協会＞	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円		
(27)免除適応コース承認校(分類A・B) 卒業生 (H17年度以降) ※2	免除	—	—	—	Ⅰ 免除	19,440円	卒業証明書(写)	

※1 共通科目II・III集合講習会の受講はできません。受講を希望される場合は免除申請をせずにお申し込みのうえ、通常の受講料をお支払いください。

※2 詳細は日体協HP「免除適応コース承認校(分類A・B)卒業生に対する免除対応について」をご覧ください。(トップページ>スポーツ指導者資格をとりたい！>学校でも資格をとれます！)

【複数の免除申請を組み合わせることも可能です】例：保健体育免許状で共通I・II・IIIの集合講習免除、さらにスポーツリーダー認定証で共通Iは試験も免除

平成16(2004)年度以前の「免除適応コース修了証明書」をお持ちの方

「免除適応コース修了証明書」の種類	共通科目					共通科目 受講料(税込)
	自宅学習・集合講習				検定試験	
	I	II	III	IV		
(1)C級スポーツ指導員／少年スポーツ指導員	免除	—	—	—	I 免除	19,440円
(2)C・B級スポーツ指導員／スポーツプログラマー／ 少年スポーツ指導員／少年スポーツ上級指導員	免除	免除	—	—	I・II 免除	19,440円
(3)C級教師／C級コーチ／フィットネストレーナー	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円
(4)C・B級教師／C・B級コーチ／アスレティックトレーナー／フィットネストレーナー	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円
(5)C級コーチ	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円
(6)C・B級コーチ／アスレティックトレーナー	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円
(7)C級スポーツ指導員・少年スポーツ指導員・スポーツプログラマー I 期 共通科目修了証明書	免除	—	—	—	I 免除	19,440円
(8)C・B級コーチ共通科目修了証明書	免除	免除	免除	—	I・II・III 免除	0円 4

受講者の決定(5月中旬～)

日本スポーツ栄養学会から推薦された受講希望者の関係書類、免除申請内容を確認後、受講決定者へ以下の書類を送付いたします。

※受講条件を満たさない場合は、受講決定に至らないこともありますのでご了承ください。

<送付物>(予定)

- (1) 受講決定通知(共通科目集合講習会の受講会場ほか)
- (2) 基本日程表
- (3) 共通科目集合講習会 受講会場一覧
- (4) 共通科目 受講会場変更届
- (5) 住所変更届
- (6) 受講申込取り下げ届
- (7) 受講料の納入について
- (8) 指導者マイページ利用マニュアル

※会場定員とシステム処理の都合上、共通科目集合講習会は必ずしも第1希望の会場とならない場合がありますので予めご承知おきください。

※集合講習会は原則全ての講義を同一会場で受講いただきます。部分受講はできません。

【受講有効期間について】

受講有効期間は**5年間**です。

有効期間内に共通科目、専門科目の講習会を受講し、検定試験に合格する必要があります。

有効期間内に修了できなかった場合は、受講資格を失い、受講実績も取り消しとなります。

受講有効期間内に受講を辞退される場合は、日本スポーツ栄養学会へご連絡ください。

受講料の納入(指導者マイページの登録・申込み)

日本スポーツ栄養学会からの案内に従い、受講料を納入してください。

※金額(免除内容)、納入方法、納入期限については同学会にご確認ください。

※指定の期日までに受講料の納入がない場合は、受講取り消しとなります。

共通科目(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)

(一部免除の方を含む)

19,440円(税込)

(保健体育一種免許状・専修免許状をお持ちの方)

16,640円(税込)

(公認スポーツトレーナー2級・1級または
他団体認定教師・上級教師資格をお持ちの方)

3,240円(税込)

(共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの集合講習と試験が免除の方)

0円



専門科目

19,440円(税込)

※スポーツ栄養ベーシック講習会受講料を除く

(再試験受験料は別途徴収)

口頭試験:15,000円+税

プレゼンテーション:30,000円+税

<受講申込みの取り下げを希望される場合>

受講決定通知に同封の「**受講申込取り下げ届**」にて必ずご連絡ください。

なお、受講料納入後に受講を辞退されても返金はいたしませんので予めご承知おきください。

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキストおよびワークブックの送付(6月下旬頃～)

受講料の納入確認後、受講決定者に共通科目テキストおよびワークブックを送付いたします。
(共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの集合講習と検定試験両方が免除の方には送付いたしません)

テキストおよびワークブックは、日本スポーツ栄養学会から日本体育協会に受講料が納入されてからの発送となります。受講料を日本スポーツ栄養学会にお支払いただいてから発送・到着までにお時間をいただく場合がありますので、予めご了承ください。

※ 共通科目集合講習会の受講にあたっては、可能な限りテキスト・ワークブックに予め目を通したうえで臨んでください。なお、ワークブックに解答や解説はございません。ご質問は集合講習会時に講師に直接お尋ねください。

共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会の受講(7月～11月／予定:10会場)

集合講習会は原則5日間の日程となっております。
(1日目:共通科目Ⅱの内容／2日目～5日目:共通科目Ⅲの内容)

講義開始後20分以上の遅刻および早退は講義欠席とみなし、当該講義を他の会場にて別途受講いただきますのでご注意ください。
なお、公共交通機関の遅れによる場合はこの限りではありません。
(公共交通機関が遅延した場合は、必ず遅延証明書をお持ちください)

< 共通科目免除内容と集合講習会の受講について >

免除内容	集合講習会の受講
共通Ⅰ	1日目からご参加ください
共通Ⅰ・Ⅱ	2日目からご参加ください(1日目の出席は不要です)
共通Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 集合講習	※ 中学または保健体育一種免許状(専修免許状)保有者 集合講習会への出席は不要です(共通科目検定試験は受験必須)

< 持ち物 >

- (1) 受講決定通知
- (2) 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキストおよびワークブック
- (3) 筆記用具
- (4) 上着(冷房対策で必要になることがあります)

< 受講会場の変更を希望される場合 >

受講決定通知時にご連絡する所定の方法にて事前に必ずご連絡ください。
※ やむを得ず講習会を欠席し、別会場での受講を希望される場合も同様にご連絡ください。
※ 本年度受講されなかった方には、2018年3月頃に次年度の開催案内をご連絡いたします。

< その他 >

交通・宿泊については自己手配・自己負担となります。(宿泊先の斡旋はしておりません)
お車でのご来場はご遠慮ください。

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ検定試験(12月～1月／2月～3月)

<受験条件>

共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会の全ての講義を受講した方

(保健体育教諭免許により、共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの集合講習免除の方を除く)

<申込方法>(予定)

所定の申込用紙にて期限までにお申し込みください。

※申込用紙は共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会にて配布いたします。

※集合講習免除の方には別途郵送にてお送りいたします。

<開催時期・会場>(予定)

①2017年12月～2018年1月

(札幌／仙台／新潟／東京／名古屋／大阪／広島／松山／福岡)

②2018年2月～3月

(東京／大阪)

※あくまでも予定ですので、上記の時期・会場から変更する場合があります。

※原則、会場は各市の主要駅から徒歩圏内の場所で調整予定です。

※①の試験で不合格になった場合は、②の受験が可能です。

※受験会場の確定通知については、原則マイページ登録アドレス宛にご連絡する予定です。

<検定試験問題出題内容>

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキストに基づき出題されます。

<検定試験方式および配点等>

四肢択一のマークシート方式です。受験科目区分ごとの配点等は下表の通りです。

受験科目区分	配分			合計	合格基準 (総得点／満点)
	共通Ⅰ (1時間)	共通Ⅱ (1時間)	共通Ⅲ (2時間)		
共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	50問	50問	100問	200問	120点以上／200点
共通科目Ⅱ・Ⅲ	—	50問	100問	150問	90点以上／150点
共通科目Ⅲ	—	—	100問	100問	60点以上／100点

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ検定試験 結果通知(2月～)

日本体育協会から受講者へ直接通知いたします。

【専門科目集合講習会および検定について】

専門科目集合講習会の開催案内は、日本スポーツ栄養学会から送付されます。

開催期間等の詳細については、日本スポーツ栄養学会へお問い合わせください。

※共通科目集合講習会と日程が重複する場合がありますのでご注意ください。

専門科目の判定は日本スポーツ栄養学会が行い、日本栄養士会での審査を経て日本体育協会に報告されます。成績通知は、日本栄養学会から受講者へ直接通知いたします。

総合判定結果通知(6月)

共通科目、専門科目の検定結果(修了状況)を通知します。
 ※原則マイページ登録アドレス宛にご連絡する予定です。

		共通科目(日本体育協会)		
		修了	未修了	未受講
専門科目(日本スポーツ栄養学会)	修了	登録手続きに関する案内をお送りします	＜共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞ 次年度以降に 検定試験を受験してください	2018年3月頃に 次年度の受講案内を お送りします
	未修了	＜専門科目＞ 日本スポーツ栄養学会へ ご確認ください	＜共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞ 次年度以降に 検定試験を受験してください	＜共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞ 2018年3月頃に 次年度の受講案内を お送りします
	未受講		＜専門科目＞ 日本スポーツ栄養学会へ ご確認ください	＜専門科目＞ 日本スポーツ栄養学会へ ご確認ください

登録手続きに関する案内 送付(7月下旬～)

共通科目と専門科目両方を修了された方に登録手続きに関する案内をお送りします。

【登録料(4年間)】

＜初回登録時＞

18,000円(基本登録料:10,000円＋資格別登録料:5,000円＋初期登録手数料:3,000円)

＜4年後の資格更新時＞

15,000円(基本登録料:10,000円＋資格別登録料:5,000円)

※詳細については、「登録手続きに関するご案内」をご確認ください。

※手続きを完了しないと、認定・登録されませんのでご注意ください。

【資格認定・登録】

所定の期日までに手続きを完了された方を、当該年**10月1日付**で公認スポーツ栄養士に認定し、日本体育協会から「認定証」と「登録証」をお送りします。

資格の有効期間は**4年間**です。

資格を更新するためには、有効期限を迎える6ヶ月前までに本会または日本栄養士会が定める研修を受講することが義務付けられています。

※義務研修を受講されていない場合、資格の更新はできず、失効することとなります。

共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 受講会場一覧

都市	会場番号	期	日	会場
東京	第1会場	7月21日(金)～	7月25日(火)	ベルサール神田 〒101-0053 東京都千代田区神田美土町7 住友不動産神田ビル2F Tel:03-5281-3053
	第2会場	8月18日(金)～	8月22日(火)	ベルサール神田 〒101-0053 東京都千代田区神田美土町7 住友不動産神田ビル2F Tel:03-5281-3053
	第3会場	9月21日(木)～	9月25日(月)	ベルサール神保町アネックス 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1 住友不動産千代田ファーストウイング1F Tel:03-3346-1396
	第4会場	10月25日(水)～	10月29日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3・4F Tel:03-3261-5014
	第5会場	8月25日(金)～ 9月2日(土)～	8月27日(日) 9月3日(日)	調整中(確定次第、日体協HP(表紙参照)に掲載いたします) ※3日間、2日間の2回に分けて実施を予定しております
名古屋	第6会場	11月3日(金)～	11月7日(火)	TKP名古屋駅前カンファレンスルーム 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 CK名駅前ビル Tel:052-569-5020
大阪	第7会場	8月5日(土)～	8月9日(水)	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 Tel:06-6302-5571
	第8会場	9月12日(火)～	9月16日(土)	ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 Tel:06-6302-5571
福岡	第9会場	7月28日(金)～	8月1日(火)	TKPガーデンシティ博多新幹線口 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 Tel:092-432-7250
	第10会場	10月18日(水)～	10月22日(日)	TKPガーデンシティ博多新幹線口 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 Tel:092-432-7250

※ 集合講習会は原則全ての講義を同一会場で受講いただきます。部分受講はできません。

共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 基本日程表(予定)

時刻	共通科目Ⅱ 第1日目	第2日目	共通科目Ⅲ 第3日目	第4日目	第5日目	時刻
9:00		9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～13:00	9:00～13:00	9:00
9:30	9:30～10:00 受付	指導者の役割Ⅰ①(2h) ・アスリートと指導者の望ましい関係 ・トレーニングの方法	身体のしくみと働き①(2h) ・運動器のしくみと働き			9:30
10:00	10:00 オリエンテーション 10:10 協賛社情報提供 10:40 指導者制度ガイダンス			スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ (内科・4h) ・アスリートの健康管理 ・アスリートの内科的障害と対策 ・スプリントによる精神障害と対策 ・特殊環境下での対応 ・トレーニング 筋力	トレーニング論Ⅱ①(4h) ・トレーニング理論とその方法 ・トレーニング計画とその実施	10:00
10:50	休憩 10:50～11:00					10:50
11:00	11:00～13:00	11:00～12:00	休憩 11:00～11:10			11:00
11:10	社会の中のスポーツ(2h) ・社会の中のスポーツ ・我が国のスポーツ・トレーニング	指導者の役割Ⅱ①(1h) ・スポーツ指導における暴力問題	11:10～13:10			11:10
12:00		<休憩> 12:00～13:00	身体のしくみと働き②(2h) ・呼吸循環器系の働きとエネルギー供給 ・スポーツバイオメカニクスの基礎			12:00
13:00		13:00～15:00		<休憩> 13:00～14:00	<休憩> 13:00～14:00	13:00
13:10	<休憩> 13:00～14:00	アスリートの栄養・食事(2h) ・アスリートの栄養摂取と食生活	<休憩> 13:10～14:10			13:10
14:00	14:00～16:00		14:10～16:10	14:00～16:00	14:00～16:00	14:00
14:10	スポーツと法(2h) ・スポーツ事故における ・スポーツ指導者の法的責任 ・スポーツと入場	休憩 15:00～15:10	競技者育成のための指導法①(2h) ・競技力向上のためのチームマネジメント ・競技力向上のための情報とその活用	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ (外科・2h) ・アスリートの外傷・障害と対策		14:10
15:00		15:10～16:10				15:00
15:10						15:10
16:00	休憩 16:00～16:10	スポーツの心臓Ⅱ(3h) ・心臓マネジメント ・ウォーミングアップ ・集中力のトレーニング ・指導者のメンタルマネジメント ・心理的エンディング ・あがり、スランプの克服 ・指導者のメンタルマネジメント	16:10～16:20	16:10～16:10	16:10～16:10	16:00
16:10	16:10～19:10		16:20～19:20			16:10
16:20						16:20
17:10	スポーツの心臓Ⅰ(3h) ・スプリントと心 ・スプリントにおける動機づけ ・心臓の心臓		競技者育成のための指導法②(2h) ・トップアスリート育てるために ～指導者が持つべき視点～ ・トップアスリート育成・強化の方法とその評価 ※指導者の役割Ⅱ「世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の在り方と指導者の役割」を含む	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ (AT・2h) ・アスレティック・フィジカル・トレーニング計画 ・フィジカル・トレーニングの手法	トレーニング論Ⅱ②(4h) ・体力テストとその活用 ・スプリントの獲得とその獲得過程	17:10
17:20						17:20
18:00				18:10～18:30 模範試験に関する説明		18:00
18:10						18:10
18:30						18:30
19:10	※第1日目の講義は共通科目Ⅱとなります。共通科目Ⅱ・Ⅲが免除の方は、1日目の開講式・オリエンテーション・講義に出席する必要はありません。2日目より受講ください。 ※共通科目Ⅱが免除の方は、講習会受講免除はありません。1日目から受講ください。 ※第5日目は、講義終了後に事務連絡をし、その後解散となります。 ※原則として基本日程通りに講義は進みますが、講義の進行状況により若干前後する場合があります。遅刻・早退は講義欠席と同様に取り扱います。 (注)この基本日程表は予定のため、変更になる場合がございます。					19:10

共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 会場案内図

第1・第2会場(東京)「ベルサール神田」

住所	〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル2・3F
交通	「小川町駅」B6出口徒歩2分(新宿線) 「新御茶ノ水駅」B6出口徒歩2分(千代田線) 「淡路町駅」A6出口徒歩3分(丸ノ内線) 「神田駅」北口徒歩7分(JR線) 「神田駅」4番出口徒歩7分(銀座線) 「大手町駅」C1出口徒歩8分(半蔵門線,丸ノ内線,東西線,三田線,千代田線)
TEL	03-5281-3053



第3会場(東京)「ベルサール神保町アネックス」

住所	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1 住友不動産千代田ファーストウイング1F
交通	「神保町駅」A2番出口徒歩2分(半蔵門線・新宿線・三田線) 「九段下駅」5番出口徒歩5分(東西線・半蔵門線・新宿線) 「水道橋駅」西口徒歩7分(JR線) 「飯田橋駅」A2出口徒歩12分(JR線・有楽町線・南北線・大江戸線)
TEL	03-3346-1396



第4会場(東京)「ベルサール九段」

住所	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3・4F
交通	「九段下駅」7番出口徒歩3分(東西線) 「九段下駅」5番出口徒歩3分(半蔵門線・新宿線) 「神保町駅」A2出口徒歩7分(半蔵門線・新宿線・三田線) 「飯田橋駅」東口徒歩10分(JR線) 「水道橋駅」A2出口徒歩10分(三田線)
TEL	03-3261-5014



第5会場(東京)「調整中」

住所	調整中
交通	
TEL	

調整中

共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 会場案内図

第6会場(名古屋)「TKP名古屋駅前カンファレンスセンター」

住所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5
CK20名駅前ビル

交通 JR東海道本線 名古屋駅 桜通口 徒歩5分
名古屋市営桜通線 名古屋駅 1出口 徒歩3分
名古屋市営東山線 名古屋駅 1出口 徒歩3分
名鉄名古屋本線 名鉄名古屋駅 徒歩5分
JR関西線 名古屋駅 桜通口 徒歩5分
JR東海 中央線 名古屋駅 桜通口 徒歩5分

TEL 052-569-5020



第7・8会場(大阪)

「ホテル新大阪コンファレンスセンター(旧チサンホテル新大阪)」

住所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19

交通 JR新大阪駅より徒歩約5分
地下鉄御堂筋線新大阪駅(7番出口)より徒歩約5分
地下鉄御堂筋線西中島南方駅(1番出口)より徒歩約5分

TEL 06-6302-5571



第9・第10会場(福岡) 「TKPガーデンシティ博多新幹線口」

住所 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14
福さ屋本社ビル

交通 JR鹿児島本線 博多駅 筑紫口 徒歩1分
福岡市地下鉄空港線 博多駅 筑紫口 徒歩1分

TEL 092-432-7250



共通科目カリキュラム

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅰ	文化としてのスポーツ	スポーツの概念と歴史	0	3.75	3.75
		文化としてのスポーツ			
	指導者の役割Ⅰ	スポーツ指導者とは	0	5	5
		スポーツ指導者の倫理			
		指導者の心構え・視点			
		世界の舞台をめざすアスリートの発掘・育成の重要性和指導者の役割			
	トレーニング論Ⅰ	体力とは	0	3.75	3.75
		トレーニングの進め方			
		トレーニングの種類			
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅰ	スポーツと健康	0	7.5	7.5
		スポーツ活動中に多いケガや病気			
		救急処置			
	スポーツと栄養	スポーツと栄養	0	2.5	2.5
	指導計画と安全管理	指導計画の立て方	0	3.75	3.75
		スポーツ活動と安全管理			
	ジュニア期のスポーツ	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴	0	5	5
		発育発達期に多いケガや病気			
		発育発達期のプログラム			
	地域におけるスポーツ振興	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	0	3.75	3.75
		総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義			
		地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」			
			0	35	35

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅱ	社会の中のスポーツ	社会の中のスポーツ	2	3	5
		我が国のスポーツプロモーション			
	スポーツと法	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	2	3	5
		スポーツと人権			
	スポーツの心理Ⅰ	スポーツと心	3	4.5	7.5
		スポーツにおける動機づけ			
		コーチングの心理			
	スポーツ組織の運営と事業	総合型地域スポーツクラブの育成と運営	0	10	10
		スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング			
		スポーツ事業のプロモーション			
	対象に合わせたスポーツ指導	中高年者とスポーツ	0	7.5	7.5
		女性とスポーツ			
		障害者とスポーツ			
			7	28	35

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅲ	指導者の役割Ⅱ	プレーヤーと指導者の望ましい関係	3	4.5	7.5
		ミーティングの方法			
		世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の在り方と指導者の役割			
	アスリートの栄養・食事	アスリートの栄養摂取と食生活	2	3	5
	スポーツの心理Ⅱ	メンタルマネジメントとは	4	6	10
		リラクゼーション			
		イメージトレーニング			
		集中力のトレーニング			
		心理学コンディショニング			
		あがり、スランプの克服			
		指導者のメンタルマネジメント			
	身体のしくみと働き	運動器のしくみと働き	4	6	10
		呼吸循環器系の働きとエネルギー供給			
		スポーツバイオメカニクスの基礎			
	トレーニング論Ⅱ	トレーニング理論と方法論	8	12	20
		トレーニング計画とその実際			
		体力テストとその活用			
		スキルの獲得とその獲得過程			
	競技者育成のための指導法	トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～	4	6	10
		トップアスリート育成・強化の方法とその評価			
		競技力向上のためのチームマネジメント			
		競技力向上のための情報とその活用			
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ	アスリートの健康管理	8	12	20
		アスリートの内科的障害と対策			
		アスリートの外傷・障害と対策			
		アスレティック・リハビリテーションとトレーニング計画			
		コンディショニングの手法			
スポーツによる精神障害と対策					
特殊環境下での対応					
ドーピング防止					
			33	49.5	82.5

「受講希望者個人調書」の記入について

手引きを熟読し、講習会の内容・流れを十分ご理解・ご了承の上、お申込みください。

【受講希望者個人調書記入に際しての留意事項】

- ① ワードのファイルを利用して作成する場合には、調書は予め2ページで作成されていますので、項目や項目ごとの設定を変更しないでください。記載に際し、文字の大きさを9ポイント以上としてください。記入漏れ、設定が変更されている調書は、受け付けないこともありますので、ご注意ください。手書きの場合は、楷書でご記入ください。
- ② 共通科目の受講を希望する会場の会場番号をご記入ください。なお、会場の収容能力等によりご希望に添えない場合もありますので、必ず第2希望までご記入ください。
※ 保健体育免許状で集合講習免除を申請する場合は、会場番号の欄にいずれも「免除」と記入してください。
- ③ 共通科目免除申請については、4ページの免除概要及び受講料をご確認ください。なお、共通科目免除を申請される方は、必ず免除証明書類の写しを添付してください。また、日本体育協会公認スポーツ指導者として既に登録されている方は、該当指導者資格の登録番号・登録有効期限を必ずご記入ください。
- ④ 推薦書等の別添書類は受け付けません。調書に同封されていた場合には、受け付けた時点で破棄させていただきます。
- ⑤ 調書の署名欄は、自署でご記入ください。
- ⑥ 必要事項の記入及び書類の整備(受講の手引き <提出物>参照)ができましたら、**必ず日本郵便『レターパック 510』を使用し(レターパックライトは使用不可)**、下記送付先へお送りください。なお、送付いただいた受講 希望者調書等各種書類につきましては、返還いたしませんので予めご了承ください。

【申込期間】

2017年3月 6 日(月)～ 3月20 日(月)

※ 当日消印有効

※ 申込期間外の消印で到着した書類(免除書類含む)は一切受け付けません。

2017(平成 29)年度公認スポーツ栄養士養成講習会 受講希望者個人調査書

※記入漏れがある場合や設定が変更された調査書は受け付けませんので十分ご注意ください。

※推薦書等の別添書類は受け付けません(同封されていても破棄させていただきます)。

フリガナ		性 別	生年月日	
氏 名		男 ・ 女	西暦 年 月 日	満 才 (4月1日時点)
連絡先 ※住所は都道府県から記載ください	〒 ー	TEL		
		FAX		
		携帯番号		
メール(携帯以外)		携帯アドレス		
勤 務 先 部署名		勤務先 TEL		
		勤務先 FAX		
		勤務先メール		
日中連絡のとれる 連絡先(携帯可)				
共通科目受講希望会場 ※保健体育免許状で集合講習免除を申請する場合は、 会場番号の欄にいずれも「免除」と記入してください。		第 1 希望会場番号【記入必須】		第 2 希望会場番号【記入必須】
		会場番号	第 会場	第 会場
最終学歴		西暦	年 月	卒業 ・ 修了
日本スポーツ栄養学会 (いずれかに○) 会員はNo.必ず記載すること	会員番号:	管理栄養士免許状	有 ・ 無	
	非会員			
日本栄養士会 (いずれかに○)	会員番号:	スポーツ栄養ベーシック コース講習会	修了 ・ 未修了	
	非会員			
合格者情報(氏名・資格名・所属都道府県)の掲載・提供について 日体協 HP 並びに報道機関各社への情報掲載・提供を			了承する ・ 了承しない	

携帯アドレスは、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、
災害発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

免除申請(共通科目)	申請する ・ 申請しない
免除要件(該当するものに○)	
	日体協公認スポーツ指導者(資格有効) 資格名: 登録番号(7桁): 有効期限: 年 月
	免除適応コース共通科目修了証明書 取得者
	その他()

※免除申請者は、必ず免除証明書類の写しを貼付してご提出ください。貼付のない免除申請は認められません。

※複数の免除申請を組み合わせる場合は、「その他」に具体的に記入してください。

※中学校教諭または高等学校教諭の保健体育一種免許状または保健体育専修免許状保有者は、共通科目Ⅰ～Ⅲの集合講習が免除となります。共通科目の免除に関する詳細については、「受講の手引き」をご確認ください。

公認スポーツ栄養士養成講習会 過去の受講歴(いずれかに○)

共通科目	講習会未受講 ・ 試験未受験 ・ 試験修了(合格) ・ 未修了(不合格) ・ 免除
専門科目	講習会未受講 ・ 検定試験未受験 ・ 修了(合格) ・ 未修了(不合格)

公認スポーツ栄養士 受講動機

--

公認スポーツ栄養士資格取得後の活動予定(詳細な記載がない場合は、選考対象外となります。)

スポーツ選手、運動を行う方を対象とした管理栄養士業務について、主要なものを3件まで(5年以内)詳細に記載下さい

期間・頻度	対象チーム・人数	内 容 ※	概 要（対象・立場・具体的な実施内容を記入ください）
例 1 年 4ヶ月間 2012年 5月～ 2013年 9月	実業団、プロ選手 大学生、高校生 中学生、小学生 その他	サポート セミナー・講演 食事管理 その他	チームからの依頼のもと、管理栄養士として高校野球部の選手および保護者を対象としたサポートを行った。選手は、夏季期間中に体重の低下がみられることから、補食摂取行動の改善によるエネルギー摂取量の確保を目指した。選手および保護者への講習会や、体重のモニタリング結果から個々の面談などを行った。
2 回/ 週・月・年	～3 名 ・ ～10 名 ～30 名 ・ 30 名～		
例 2 年 0ヶ月間 2013年 4月～ 2015年 3月	実業団、プロ選手 大学生、高校生 中学生、小学生 その他	サポート セミナー・講演 食事管理 その他	県スポーツセンターの非常勤管理栄養士として、国体参加選手のメディカルチェック、体力測定時に食生活調査を行った。結果は個人ごとにアドバイスを含めフィードバックした。年間約10回、延べ100人に実施した。
1～2 回/週・月・年	～3 名 ・ ～10 名 ～30 名 ・ 30 名～		※記入の際は記載例を削除し、使用ください
年 ヶ月間 20 年 月～ 20 年 月	実業団、プロ選手 大学生、高校生 中学生、小学生 その他	サポート セミナー・講演 食事管理 その他	
回/ 週・月・年	～3 名 ・ ～10 名 ～30 名 ・ 30 名～		
年 ヶ月間 20 年 月～ 20 年 月	実業団、プロ選手 大学生、高校生 中学生、小学生 その他	サポート セミナー・講演 食事管理 その他	
回/週・月・年	～3 名 ・ ～10 名 ～30 名 ・ 30 名～		

※ 内容について

- ・ 「サポート」とは、計画（アセスメント含む）、実施、評価、改善のPDCAサイクルに基づいた継続的な業務を指します。依頼を受けての単発の講習会の場合は、「セミナー・講演」としてください。
- ・ 「食事管理」とは、ご自身で給与栄養量を設定し食事計画を立てているものを指します。調理業務のみに従事している場合は、「その他」としてください。一連のサポート業務に食事管理を含む場合は「サポート」のみに○をお付けください。

公認スポーツ栄養士養成講習会は国庫補助事業です。受講決定者は資格を取得することが前提となります。

受講有効期間内に養成講習会を受講し、検定試験を受験することに同意しますか。

☐同意する ☐ 同意しない

上記のとおり相違ありません

西曆

年 月 日

署名(自署)

近年の国際化、情報化、少子高齢化等の進展などによる急激な我が国の社会状況の変化とともに、私たち日本人の価値観やライフスタイルも大きく変わろうとしています。そのような中でスポーツは、人間の思考・言動の本源的欲求に応えるほか、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすとともに、社会生活に必要な人間の資質の形成などに重要な役割を果たすものであるという認識が高まっております。

このように、スポーツは、健康の増進や体力の向上のみならず、人間にとって生涯を生きていく上で不可欠な文化として、また、現代社会における高齢化の進展や生活習慣病の増加による医療費の増大、青少年の健全育成や体力低下の問題、余暇時間の増加など諸課題に対応するものとしての役割が期待されはじめています。

また、スポーツは、人間の可能性の極限を追求する営みであるという意義を有しており、競技者の極限へ挑戦するパフォーマンスは、スポーツへの関心を高め、スポーツの振興に寄与するとともに、すべての人々に夢や感動を与えるなど、健全で活力のある社会の形成にも貢献することが期待できます。したがって、21世紀の社会において、国民一人ひとりの生活の中に、スポーツを位置づけたライフスタイル(スポーツライフスタイル)を構築することは大きな意義があります。

本会では、創立100周年を記念して2011年に公表した「スポーツ宣言日本ー21世紀におけるスポーツの使命ー」の具現化に向けた取り組みを本格化していきます。これまでの国民スポーツ振興の基本理念であった「生涯スポーツ社会の実現」を包含しつつ、さらに一歩進めて新たに「スポーツ立国の実現」を掲げるとともに、それに基づく各種事業推進の方向性を示した新しいスポーツ推進方策を策定してまいります。

これからの100年に向けて、スポーツに携わるすべての方々や団体・組織等と連携・協力し、スポーツを通して「公正で福祉豊かな地域生活の創造」、「環境と共生の時代を生きるライフスタイルの創造」、「平和と友好に満ちた世界の構築」の3つのグローバル課題の達成に努める所存です。

これらの使命を達成するために、スポーツ指導者が果たす役割は極めて重要です。

スポーツは、あくまでもプレーする本人が、それぞれの目的のため、自主的・自発的に行うものであり、本人のやる気があるとはじめて行われるものです。スポーツ指導者は、プレーヤーのやる気を導き出し、自立したプレーヤーを育てることが重要となります。そして、その指導法は、スポーツ医・科学など様々な知識に裏付けられたものでなければなりません。

そのためにも、本会「公認スポーツ指導者制度」で定めるカリキュラムに基づき、スポーツ指導者としての能力を高めるとともに、常に自己研鑽に努め、社会的に信頼される指導者となり、これまで以上に我が国スポーツ振興の中核として活躍されることを期待します。

公益財団法人 日本体育協会

日本体育協会は 約束します!!

日本体育協会は、公認スポーツ指導者制度に基づき
「スポーツの未来を支えるグッドコーチ」を育成するため、
指導者に対し、社会に対し、そして自分自身に対し、指導者育成が
目指す方向性をここに示し、みなさんと約束します。

スポーツを未来へ継承する

メインメッセージ

「スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化である。(スポーツ宣言日本)」

私たちが愛するスポーツは、世代も人種も越えて受け継がれてきました。しかも不断の進化(変容・拡大・深化)を続け、現在では、人々の生き方や暮らし方に重要な影響を与えています。

そのスポーツの現場において、直接的に活動を支えてきたスポーツ指導者たちの存在と功績は極めて大きく、日本のスポーツ発展の牽引役を担ってきたと言えるでしょう。

時代と社会の発展とともに進化したスポーツ界において、指導者には何が求められてきたのか。これからの時代に何を受け継ぎ伝え導いていくのか。そして新たに何が求められてくるのか。

日本体育協会は、スポーツ指導者養成の取り組みを始めて50年が経過したことを契機に、改めて、スポーツ指導者のこれまでの実績を見つめなおし、その意義と役割を未来へつなぎ、広め、高めていくことを約束します。

あなたの「学び」を全力で応援します

指導者のみなさまへ

スポーツ指導者は何のために存在するのか。それは、スポーツの技能やパフォーマンスの向上、スポーツを通じた人としての総合的な成長、そしてスポーツの意義と価値の向上の3つと言えるでしょう。

スポーツ指導者は、この3つを実践するため、プレーヤーズ・ファーストを基本スタンスとして、自分が持っている資質能力(思考、態度・行動、知識・技能)のすべてを駆使して、指導対象者の行動をプラス方向へ変容させることに力を注ぎ、

その成果を高めるために「学び続けて」います。

「学び」は常に「わかる」から「できる」へ。さらに「いっつもできる」へと段階的に成長していきます。

日本体育協会は、あなたの「学び続ける姿勢」に応えるため、各種講習会や研修会を開催するとともに、さまざまな情報提供を通じて、あなたの「学び」を応援し続けていくことを約束します。

「安全で、正しく、楽しいスポーツ活動」をサポートします

スポーツを愛するすべてのみなさまへ

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利」と謳う「スポーツ基本法」は、併せて「すべての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない」としています。

日本体育協会は、公益法人の責務として、スポーツの意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる資質能力(思考、態度・行動、知識・技能)を有する公認スポーツ指導者を加盟団体等と一体となって養成していくことで「安全で、正しく、楽しいスポーツ活動」をサポートしていくことを約束します。

指導者とともに、スポーツの未来のために

スポーツ界(自分たち)へ

日本体育協会公認スポーツ指導者制度は、日本体育協会と加盟団体等が一体となって、各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立するために定めているものです。

このたび、指導者育成50周年にあたり「私たちは何のために指導者育成事業を行っているのか?」と自らに問いかけたとき、その答えを「スポーツに関わるすべての人の幸福実現(うまくなりたい、つよくなりたい、健康でいたい、長生きしたい、仲間と喜び楽しみを共有したい)に貢献すること、養成さ

れた指導者の社会的価値を高めること、スポーツの意義と価値をつなぎ、広め、高めていくこと」と導き出しました。

スポーツ指導者の「学び」は常に「わかる」から「できる」へ。そして「いっつもできる」へと段階的に成長していきます。

スポーツ推進の担い手となるスポーツ指導者の成長を支えていくのは、私たちスポーツ団体の責務です。

スポーツに関わるすべての人を幸福にし、さらにその幸福を社会に広げていく活動のため「指導者とともに、スポーツの未来のために」ともに歩みましょう。

宣言しよう、フェアプレイ。

宣言しよう。

全力をつくし、挑戦し、
楽しむことを。

宣言しよう。

仲間を信じ、思いやることを。

宣言しよう。

約束を守り、応援してくれる人への
感謝を忘れないことを。

その誓いは、スポーツを

もっと楽しいものにしてくれる。

日々の生活を

もっとすがすがしいものにしてくれる。

そして多くの人々を活気づけ、

今の日本を元気にするチカラにも
なってくれる。

さあ、あなたも手を胸に。

フェアプレイの誓いを。

フェアプレイで
日本を元気に

あくしゅ、あいさつ、ありがとう

「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンで、
フェアプレイの輪を広げ、日本をもっと元気に！

あなたもはじめの一步を、まずはホームページで。

フェアプレイ宣言

検索



日本体育協会は、スポーツ立国の実現のため、国民体育大会をはじめとする各種スポーツ大会の実施やスポーツ指導者の育成等を行うとともに、スポーツの持つ価値や意義を広くアピールし、国民の生きる力の育成と活力ある社会の構築に貢献していきます。また、日本をもっと元気にしたい。その想いから、「フェアプレイ宣言」推進の取り組みも行っています。



公益財団法人

日本体育協会

わたしたちは、「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを応援しています。



大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LAWSON

LOTTE

KOSAIDO

セレスポ